

畿央大学後援会だより

発行：畿央大学後援会
2017年 3月24日
第17号



ご挨拶

畿央大学後援会 会長
清水 隆平

桜の花や、木々の緑から新たなスタートを感じる季節となりました。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、後援会活動に対し、ご理解ご協力をいただき深く感謝しています。

この原稿を書いている2月は、4年生が大学生活の総まとめとして様々な課題に挑戦しています。遅くまで学校に残り、卒業論文、制作、国家試験等の準備を、先生方の指導のもと辛い中にも同期と励まし合い後輩からの応援を受け有意義な時間を過ごしています。夜遅く家族の方が疲れた学生を迎える光景も見受けました。多くの人達から支えられ卒業する姿は、入学時には想像もできなかったその逞しい成長と共に、家族の方は大変感動されていることと思います。

さて、本学近くで幼少期を過ごした司馬遼太郎は「二十一世紀に生きる君たちへ」の中で、真夏の太陽のように輝く未来を期待し、その未来を担う子供たちに対し生きるべく方向を示しています。

「人間は、自分で生きているのではなく、大きな存在によって生かされている」という素直な態度こそ新世紀への希望であり、その素直さを若者たちが持ってほしいと期待し、人は社会をつくって助け合いその社会とは支え合う仕組みということであると述べています。助け合うためには「他人の痛みを感じる」、「いたわり」、「やさしさ」という感情と心がまえを持つべきだと重ねて示しています。

学生達に畿央力とは何かと尋ねたところ、キャリアセンターへの感謝、先生との距離の近さ、気軽な事務局への相談、友人同士の交流が挙げられました。人同士が支え合う仕組みがうまく機能し、やさしさを実行していること、それが輝く未来を担う若者を育てるべく本学の魅力であり、今後の発展には欠かせないものと改めて実感しました。

後援会は、その基本方針として、学生生活の充実と大学の発展に貢献することを目的としています。経済的な不安から学びたい意欲を実現できない学生、社会貢献や研究等に関しチャレンジ精神を持つ学生を支援・応援すべく、現在後援会としての新たな取り組みを模索しています。

司馬氏はエッセイの最後をこう結びました。若者は、つねに晴れあがった空のよう、たかだかとした心を持ち、ずっしりとしたたくましい足取りで大地をふみしめつつ歩くべきだと。

今年は、
7月1日(土)
です!!

平成29年度保護者懇談会・後援会総会を7月1日(土) 午後に冬木記念ホールにて開催いたします。詳細は、5月末にご案内いたします。ご予約いただき是非ご参加ください。

ご挨拶

学校法人冬木学園 理事長
畿央大学 学 長
冬木 正彦



後援会の皆様には、畿央大学の教育活動に対し日頃から温かいご理解とご支援をいただき誠に有難うございます。

畿央大学で学ぶ多くの学生は、将来は医療や教育の分野で人の役に立ちたい、社会に貢献できるような人になりたいという夢を持っています。子供のころから育んできたそのような夢をかなえるため、高校卒業までは大学に合格するという具体的な一つの共通の目標をもって勉学に励んできていました。大学入学後はそれぞれの夢の実現に向けて「自ら道筋をつけていく」必要があります。

畿央大学では学生一人ひとりに対して教職員がきめ細かいサポートができていてことで学生の満足度も高く、外部からも優れた特色として評価されています。しかしながら注意しなければならないことがあります。それは大学における学習の姿勢です。国家試験や採用試験のための学習であっても、大学受験勉強と同じような姿勢で学習するならば、困ったことになるということです。卒業後、社会で生き抜くには、進む道筋を自ら切り拓いていくことが求められます。それにつながる道筋をつけることを大学で準備する必要があります。

具体的には、学ぶ姿勢を受身から能動的に転換することです。与えられた範囲の知識を教えられることに従って理解するのではなく、学習すべき範囲を自ら考え自ら理解するという姿勢で学習に臨むことです。学ぶ姿勢が能動的になることにより、変化する社会の中で学びながら問題を解決し歩み続けることが可能となります。

畿央大学では以前からグループ学習や演習・実習などでは学生の能動性を引き出す工夫を行っていますが、学ぶ姿勢の転換には時間がかかります。

保護者の皆様方には、ご子息・ご息女の学び方の姿勢の変化を見守っていただき、教職員が一体となって進めている畿央大学の教育へのご理解とご支援を引き続きお願いする次第です。

CONTENTS

ごあいさつ	P 1
健康科学部 理学療法学科	P 3
看護医療学科	P 4
健康栄養学科	P 5
健康科学部 人間環境デザイン学科	P 6
教育学部 現代教育学科	P 7
授業日カレンダー	P 8



晴れの門出を祝って

健康科学部長
健康科学研究科長
金子 章道

畿央大学後援会会員の皆様からは、本学の教育に対し日頃より深いご理解と多大なご支援をいただいていることに深く御礼申し上げます。

卒業生たちの晴れ姿を見るこの時期は大学に奉職する者としてとても華やいだ気持ちになります。保護者の方々におかれましても同じ思いであろうと拝察し、お祝い申し上げます。4年前の入学時にはまだ幼い容貌を残していた学生たちもすっかり大人の顔つきになり、これから世の中のためにしっかり働くのだという決意に満ち溢れております。彼らには心から祝福を送りたいと思います。

これから彼らが出ていく世の中は明るい未来だけではありません。国内を見ても少子高齢化が進み、若い人たちは多くの高齢者を支えていかなければなりません。国の借金もとてつもない額になっています。この借金を返していく責任も負わなければなりません。その上、自分たちが学生時代に借りた奨学金も返済しなければなりません。彼らに少しでも明るい未来を作ってあげたい。そう願うのは私だけではないと思います。目を世界に向けるとここにも未来に不安材料が山ほどあります。米国の新大統領はどのような国際、経済関係を築いていくのだろうか。英国のEU離脱はどうなるのだろうか。過激派によるテロは無くなるのだろうか。このような不安材料に満ちた世の中で自分を見失うことなく足を地につけて生きていくことが求められています。

そのために必要なことは身の周りの人たちと確固たる信頼関係を築くことだと思います。周りの人たちを信頼し、裏切らない——この関係が出来上がって初めて充実した活動が出来るのだと考えております。一人一人が自立、自律した人格を持ち、大人同士として接することによってこの信頼関係が醸成されます。互いに信頼しあい、明るく楽しい世の中にしたいものです。

〈やさしさ〉と〈たくましさ〉と

教育学部長
教育学研究科長
前平 泰志



春は別れとそして出会いの季節です。大学に身をおくものとしては、教育の現場をはじめ、様々な場で卒業生が活躍することを念じる季節でもあり、また他方では、新入生が先輩たちの後に続きながら、自らの道を新たにたくましく切り拓くためのスタートラインに立ってもらう季節でもあります。

ご存知の方も多いと思いますが、ある推理小説のなかに、主人公がつぶやくこのようなセリフがあります。「たくましくなければ生きていけない。やさしくなければ生きる甲斐がない。」

本学の「やさしさを『チカラ』に変える」というモットーは、まさしくこのような、〈やさしさ〉と〈たくましさ〉を兼ね備えた人になってもらいたいという願いが込められているかのようです。近年やさしい若者が増えてきたと言われていますが、たくましさは以前と比べてどうなのでしょう。

本学での学生生活は、やさしさをたくましさに変換する手立てがたくさん仕組まれています。「この大学で学んでよかった！」と心から思って力強く巣立っていってもらうための手立ては惜しみません。

そして、たくましくなって巣立っていくときには、もう一度振り返って、やさしさもまたかたちを変えてその人のなかに棲み続けていることが実感できる——そのような人を育てていければと願っています。

どうぞ、本年度も後援会の皆様のあたたかいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

メッセージ

健康科学部
理学療法学科
学科長

庄本 康治



保護者の皆様には日頃より理学療法学科の運営・教育にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

理学療法士の誕生は昭和40年ですが、平成12年頃から養成校は急増し、平成28年に

は4年制大学が102校、短期大学6校、4年制専門学校66校、3年制専門学校が84校となりました。理学療法士免許取得者数も増え続け、平成28年で約14万人になりました。この様な状況から、平成28年に厚生労働省で理学療法士・作業療法士需給分科会が開催され、①団塊の世代が75歳以上になる2025年に向け、さらに理学療法士・作業療法士の需要が増加すること ②一方、理学療法士・作業療法士の養成数は大幅に増加しており、理学療法士・作業療法士の従事者数も増加傾向にあり、質的保証が重要であると報告しています。

ところで、2013年にオックスフォード大学の研究者がコンピューターの影響を受けやすい未来の仕事に関する調査報告をし、

今後の20年で現在のアメリカの雇用の半分以上がコンピューターに取って変わられる可能性が高いと報告しています。この報告では約700職種を調べていますが、コンピューターによって代替されにくい仕事は、1位 レクリエーションセラピスト、2位 最前線のメカニック、修理工、3位 緊急事態の管理監督者、4位 メンタルヘルスと薬物利用者のサポート、5位 聴覚医療従事者、6位 作業療法士、7位 義肢装具士、8位 ヘルスケアソーシャルワーカーで、理学療法士は90位にランクされています。いずれの仕事も高度な対人的能力が要求される事は間違いありません。質の高い、しっかりとした強みを持った理学療法士を輩出可能にしたいと考えています。

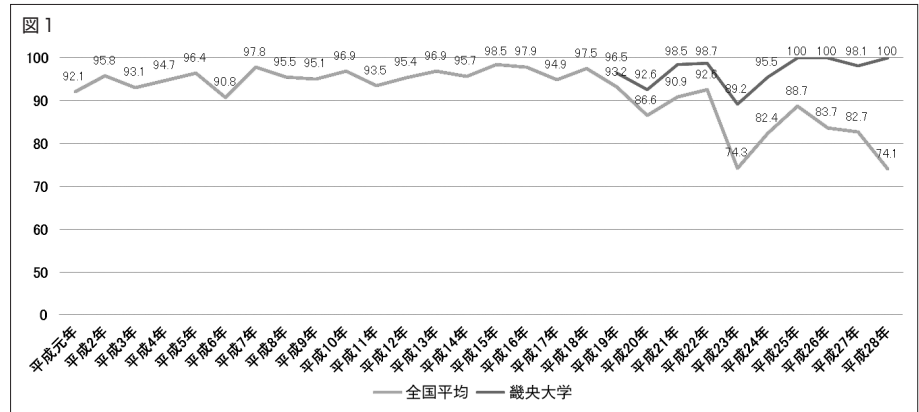
国家試験への取り組み

就職活動は、早い人で総合臨床実習中の5、6月頃から開始されますが、大半は実習終了後の8月頃から施設見学を開始し、採用試験を経て年内にほとんどの学生が就職先を決定します。病院求人也好調ですが、近年は老人保健施設、訪問リハビリテーション関係などからの求人も増えています。

ところで、図1に示したように、国家試験合格率は10年ほど前まではほぼ100%近くで4回生の臨床実習に合格する方が国家試験合格よりも困難と感じていた時代がありました。しかし、ここ数年で問題の難度が上がり、さらに平成28年には約10年ぶりに出題範囲が拡大し、合格率も74.1%と過去最低レベルになりました。平成28年国家試験を受験した養成校は合計255校であり、

100%の合格率を達成できた養成校は本学を含めて16校でした。16校を分析すると、本学以外の養成校は10～44名までの受験者

数であり、60名以上受験して全員合格出来た養成校は本学のみです。学生さんの努力の結果ですが、大学としての国家試験対策も成熟しつつあると感じています。今後も良い結果を出せるようにサポートする決意です。



卒業研究発表会を開催！～学生レポート～

3回生前期の「理学療法研究法」という授業で希望するゼミを選択します。そして、後期から本格的にゼミ活動が始まります。卒業研究の準備段階として興味のあることについて調べ、それに関する様々な先行研究の資料や文献を探し知識を集めます。私の所属ゼミは毎年【地域リハビリテーション】に関する研究を行っているので、介護予防教室に参加している方々に測定や調査をして、それらのデータから考察を行います。考察やデータ解析の時間が多く取れ、焦ることなく進めていくことができました。

発表会（11／4～5）当日は、48演題の発表が行われました。興味深

いものや分かりやすいもの、難しいものもありましたが有意義な発表会になったと感じます。協力してくださった教員方や研究環境を提供してくださる大学、そして研究に対する学生の熱い思いが現れた結果だと思います。私たちは【ロコモ度テストにおける自己身体能力の認知誤差の要因】という演題で発表しました。緊張が伝わってしまうような発表になりましたが良い経験になりました。

卒業研究は1年間の活動で終わりますがその経験や結果はこれからもずっと残るものです。この経験を今後も生かし、自分の役割を見つけていきたいと思います。

理学療法学科 4回生 I



■ 建学の精神

徳をのばす

豊かな人間性、コミュニケーション力と
思いやりの心を身につける

知をみがく

科学的認識に支えられた
知性とたゆまぬ探究心を培う

美をつくる

豊かな感受性を持ち
創造する力を磨く

■ 畿央大学の歩み

2003年 4月 畿央大学健康科学部 開学
2006年 4月 教育学部現代教育学科 開設
2007年 4月 大学院健康科学研究科 修士課程 開設
2008年 4月 健康科学部看護医療学科 開設
2009年 4月 大学院健康科学研究科 博士後期課程 開設
2011年 4月 大学院健康科学研究科に看護学分野 開講
2012年 4月 助産学専攻科 開設
2014年 4月 大学院教育学研究科 修士課程 開設

メッセージ

健康科学部
看護医療学科
学科長

河野 由美

後援会の皆様には、本学の教育にご理解と多大なご協力を賜り、心よりお礼申しあげます。さて、看護医療学科では将来、看護師として活躍できる看護実践能力の高い人材



を育成することを目指しております。看護実践能力の高い看護師を育成するためには臨地実習での学びが何よりも大切になり、大学と臨地の強い連携が求められます。本学科では毎年12月に、臨地実習で学生にご指導を頂いております指導者さま方を大学にお招きして「臨地実習指導者研修会」を開催しております。本年度もご多忙の中、71名の指導者様方に参加を頂きました。今回は、一般社団法人日本ほめる達人協会の特別認定講師に、「ほめて育てる今どきの学生」というタイトルでご講演をいただきました。講演やワークを通して、学生のできないところばかりに注目するのではなく、できている点や良い点にも目をむけ、人の

力を活かし伸ばすための教育支援に関して貴重な学びをすることができました。なお、今回はじめて4名の卒業生の参加があり、卒業生の成長を大変嬉しくまた心強く感じることができました。

人と人との絆やご縁に恵まれ、臨地実習施設のあたたかいご支援により、臨地と大学が連携・協働できることが本学科の強みと言えるかもしれません。

本学で学んだ学生が社会に大きく貢献できるよう、建学の精神を礎としながらも、高い専門性と人間性を備えた専門職教育が行えるよう尽力していきたいと存じます。今後とも引き続き、皆様のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

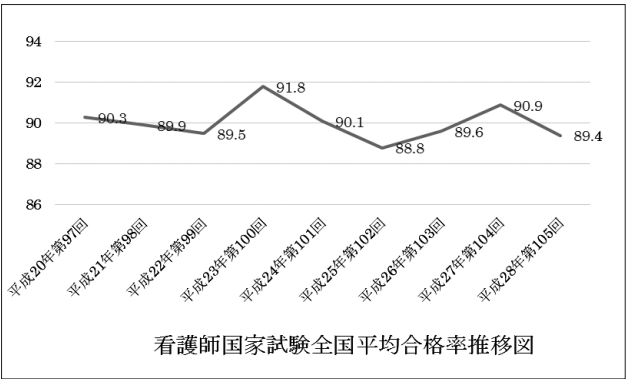
国家試験への取り組み

2月19日に実施された第106回看護師国家試験には92名が受験致し、3月27日が合格発表日です。おかげさまで本学は3年連続で看護師国家試験合格率は100%ですが油断はできません。昨年の第105回看護師国家試験では関西の四年制看護系大学（国公立私立）39校中、100%の合格率だったのは本学を含めて16校のみです。全国的にみても図でお示した通り、合格率は90%前後で推移しております。

さて、本学が毎年学生に実施している「学生生活実態・満足度調査」において、「生活費を主にどうしているか」との問いに、21%の学生がアルバイトと回答しております。昨今の厳しい経済情勢から保護者に負

担をかけたくないとの思いで、アルバイトで多くの時間を費やしてしまう学生もいるようです。多くの学生が支給を受けている日本学生支援機構の奨学金は、基本的には返還が求められます。しかし病院や奈良県が出している奨学金の中には、卒業後に就業等の条件を満たせば返還しなくて良いものもあります。本学が実習指導を頂いている教育体制の整った病院でも奨学金を出しているところがあります。実習病院の奨学金情報は学科で取りまとめ、チームサイト「科目サ

イト」中の「看護情報集」から看護医療学科の学生が自由に閲覧できるようにしておりますが、何かございましたら担任にご相談頂けると幸いです。今後もう少し役立つ情報を提供できるように尽力する所存です。



海外インターンシップの最終報告会を畿央祭で開催！

畿央祭1日目！海外インターンシップ最終報告会を行いました！

9月の学内報告会で頂いた助言をもとに、より分かりやすく、より伝わりやすく、発表内容を修正して臨みました。来場くださったみなさんの優しい雰囲気にも助けられ緊張もほぐれ、自然と発表に熱が入りました。オーストラリアと日本の医療環境の違い、看護教育体制、緩和ケアや認知症ケアの実際、現地学生や講師との交流の様子などなど…。

それらに対する自分たちの考えとともに、オーストラリアで学んだことを一つでも多く伝えられるよう頑張りました。聞いていただいた方々からは、こんな声を頂きました。



・日本とオーストラリアの緩和ケアの違いなど、普段の自分の大学で講義を受けているだけではわからないようなことが勉強できてよかった。

・私も看護の道を志しているのので、主体的に学ぶ大切さを感じることで有意義な時間でした。
・短い期間で多くの学びがあったことに驚きました。課題まで発見されており、今後に活かされることを期待します。
・海外での異文化に触れた経験を活かして頑張ってください。

たくさんの方が興味を持ってご参加くださったことに心より感謝申し上げます。この海外インターンシップという素晴らしい機会を与えてくださった畿央大学、準備をくださった先生方、職員の皆様、私たちを受け入れてくださった研修先の皆様、そして私たちの希望を聞いて送り出してくれた家族に改めて感謝を伝えたいです。本当にありがとうございました！看護医療学科インターンシップメンバー一同



メッセージ

健康科学部
健康栄養学科
学科長

小西 洋太郎

保護者の皆様にはいつも変わらぬご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

最近気になることは、学年の途中で進路を誤ったのではないかと悩む学生が少なからず存在することです（本学の話だけでは



ありません）。熟慮の末に進路変更のため退学を決断した学生は「よし」としましう。ビジョンをしっかりとって、自分に対してより多くを求めて歩んで行ってほしいと願っています。問題は、決断ができない潜在的な退学志望者が数多く存在するのではないかという懸念です。そのような学生は、進路の悩みだけでなくおそらく複数の原因を抱えていると推察しますが、学習意欲が上がらず、成績不振となって顕在化してきます。本学の担任制度はそういった学生への対応機能として働いていると思いますが、それでも完璧ではありません。

じつは、私は大学入学後わずか3ヶ月で進路変更を考えたことがあります。栄養学についてこれまで知る由もなかったし、興

味も湧きませんでした。当然将来設計なんかできなかった。誰にも相談せず刻々と時間が過ぎていくだけでした。しかし、2回生のとき、生化学の講義でビタミン発見のサクセスストーリーを聴いて「眼からウロコ」でした。その後、自ら関連書を読むようになり、結果的に退学を封印し、生化学およびその原点となった栄養学をもっと究めよう一念発起したことを思い出します。

大学生活4年間で将来への不安や進路について悩まない人は皆無でしょう。悩みや迷いは人生の岐路のシグナルであり、私たちは広く受け止め、自分自身で判断・行動できるようサポートしていきたいと思いま

国家試験への取り組み

管理栄養士国家試験は出題範囲が大変広く、4年間で学んだ専門科目ほぼすべてにわたる難易度の高い試験です。今年も3月19日に試験が実施され、この難関に本学からも多くの学生が挑戦しました。学生たちの努力を見守ってきた教職員一同、5月9



日の合格発表を待ちわびています。

昨年より応用問題が10問から20問に増加し、より実務的な知識が問われるようになりました。この影響が、昨年の新卒合格率は85.1%となり、その前の年の95.4%から約10ポイント低下、また既卒合格率は26%から5.4%へと大幅にダウンしました。働きながら合格を目指すことは益々難しくなっており、在学中に万全の体制で試験に臨むことが合格への一番の近道です。

健康栄養学科では、国試に対する意識付けを目的として2年生および3年生の学年末に集中講義を実施し、4年生においては週4コマの演習形式の授業を開講します。これらの授業と並行して繰り返し模擬試験



を実施し、自身の弱点や実力を確認するとともに試験問題の復習を通じて学力の向上を図っています。

新4年生の国試対策はスタートしたばかりですが、今年度も学科の総力をあげて取り組んでいく所存です。やる気を育むよう、厳しさだけでなく暖かさも兼ね備えた指導を心がけていきたいと思います。

田原本町連携事業「味間いもレシピ開発プロジェクト」

田原本町の特産物で、大和の伝統野菜でもある味間いもを使った「味間いもレシピ開発プロジェクト」に3～4年生21名が参加し、25品を考案しました。（指導教員：上地加容子教授、中村華代助手、隅蔵菜海助手、中橋寿美枝助手）味間いもは、里芋の中でも粘りがあり、ねっとりとした食感と味が特徴です。里芋を使用する機会の少ない学生にとって悪戦苦闘の様子でしたが、「家庭で作りやすい」、「商品として販売できる」など色々なコンセプトを想定しながら、試作を重ねて素晴らしいレシピに仕上がりました。10月29日に町長様



をはじめ関係者各位を本学にお招きして品評会を実施しました。本学からは学長、学科長が加わり、見た目・味・味間いもの特徴が生かされているかといった審査基準に基づき評価を行い、優秀レシピには町長賞、農業振興推進協議会長賞、教育長賞が贈られました。11月3日には、田原本町が近鉄田原本駅前を盛り上げようと毎年開催されて



いる「やどかり市」に3年生6名が参加し、「味間いもケーキ」「味間いももち」各100食をご試食いただきました。大好評で、味間いもの広報に貢献できたのではないかと思います。2月には「味間いもアイディアレシピ」が発行されました。是非、皆様にご活用いただき、味間いもの知名度が益々アップするようお願いしております。

メッセージ

健康科学部
人間環境デザイン学科
学科長

三井田 康記

平素より、本学の教育にご理解とご支援を賜り、ありがとうございます。

学期末試験も、卒業研究展も終わり、学生たちは卒業や新



学期を待つばかりとなりました。

2月の初めまで、毎日、徹夜も辞さずに、ゼミ室や研究室で卒業研究や卒業制作に励んでいた学生たちも姿を見せなくなり、熱気にあふれていた学内も急に静かになりました。

2月25日、26日に奈良県文化会館で行いました卒業制作展には、多くの方にお越しいただきありがとうございました。展示室でスポットライトを浴びると、卒業作品もそれを制作した学生も輝きを増します。学生同士で相談し、協力し合って、展示作業を行う姿にも頼もしさを感じました。入学した時は頼りなさそうに見えた学生も、4年間で、こんなに成長しました。

一方、3回生や2回生は、学年を超えて、少人数のグループに分かれ、「プロジェクトゼミ」を行いました。あるゼミは、近隣の自治体からの依頼を受け、地域の課題を話し合うワークショップに参加し、具体的な解決策の提案を行いました。別のゼミでは、著名な建築家の作品を図面や模型製作を通して追体験し、理解を深める試みに取り組みました。

いずれのゼミも、回を重ねるにつれて、先輩から後輩へと様々なことが受け継がれて、学生たちの取り組む姿勢も、内容も、すばらしいものになってきています。来年度も、学生たちはさらに成長を見せてくれるものと、心から期待しています。

まちづくりの提案

人間環境デザイン学科では今年度、町内にある西谷公園の集会所改修計画や竹取公園フードコーナーの新設提案、その周辺の活性化に向けて敷地の分析や検証、まちづくり提案などを授業やゼミを通して進めて



きました。

広陵町役場の方々にお越しいただき、作成した図面や模型を用いて各自プレゼンテーションを行い、また、住民の方々とも実際に意見交換をし、より良いまちづくり提案を目指して課題に取り組んできました。

その実績が評価され、2月14日広陵町役場にて「畿央大学生感謝状贈呈式」が行われました。プロジェクトに関わった学生12名に山村吉由町長より一人一人感謝状が手渡され、あわせて町長・学生のツーショッ



ト記念撮影も行われ、広陵町のマスコットキャラクター「かぐやちゃん」グッズを副賞としていただきました。

2月下旬からは、初めて広陵町役場でのインターンシップを開始し、より連携を深めています。

ランドスケープ演習 ～景観を考える力を養う～

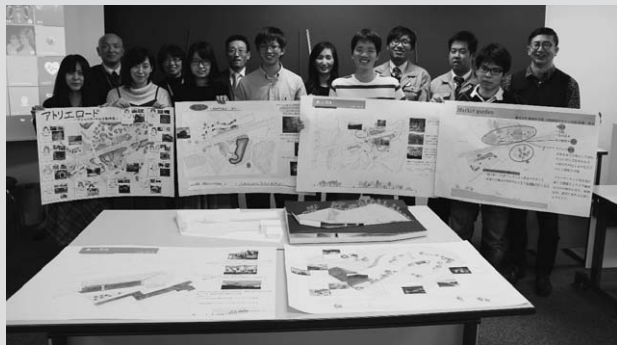
昨年度より、全国でも珍しい「ランドスケープ演習」を開講しております。

ランドスケープを景観や風景、造園として訳されることが多いですが、海外では都市計画を含めた景観を考える専門家としてランドスケープアーキテクチャーは位置づけられています。特にアメリカやイギリスの大学ではランドスケープアーキテクチャーを養成する学士課程もしくは修士課程が多く設置されております。

マクリース美奈子先生はアメリカでランドスケープを学ばれ、現在でもランドスケープデザイン事務所で勤務しながら本学で担当いただいています。さらにゲスト講師として、造園事務所の主宰である松下岳生先生をお招きし2名体制での演習授業を行っております。



今年度は広陵町と連携し、馬見丘陵公園と竹取公園が接している交差点角地に、



住民の生活がより豊かになり定住促進につながるような、また訪問者にもこの場所が魅力的になるような拠点施設を設計課題として設定しました。さらに、隣接する幹線道路に対して馬見丘陵公園を開くということも、ポイントとしました。

いきなり設計をするのではなく、敷地分析図を学生それぞれが作成し、そこから提案を行うという実務でも活かせるプロセスを踏んだ丁寧な指導をしております。ランドスケープ設計だけでなく、敷地で行われるプログラムも提案し、ハードとソフト両方からデザインに取り組んでいます。

メッセージ

教育学部
現代教育学科
学科長

安井 義和

後援会の皆様には学科の教育研究活動に、常日頃あたたかなご支援・ご理解を賜っておりますことにお礼を申し上げます。ありが



とうございます。

昨夏には小学校の教員採用試験における水泳実技に備えての講習会で、4回生の寺岡頑希さんが7月29日に事故に遭い、病床での頑張りも虚しく8月17日に帰らぬ人となりました。在ってはならない事故に、残念で悔しくて申し訳なく思っています。

同期生が教員採用試験等の真っ直中でしたが、悲しみに耐えながらも乗り越えてくれた学生の皆さんに敬意を表します。

毎年のこの時期は社会に間もなく出る学生の逞しさと同時に、4年間の成長が顕著になり、「さすが畿央生」と嬉しくなり、成長曲線の急上昇に眩しさを感じます。

「教員・保育士になる！」熱い思いで！

奈良や大阪の小学校を訪れると、畿央大学出身の教員がいる学校が増えてきました。しかも、複数です。そして、今年度も着々と教員採用試験の素晴らしい結果が出ています。新学期から先輩の仲間入りです。

教育学部8期生のうち、36名が公立小学校教諭、4名が養護教諭、1名が特別支援学校教諭、20名が公立保育所・幼稚園の採用試験に合格しました。合格率は小学校で58.1%、養護教諭30.8%、公立保・幼83.3%



でした（3月9日現在）。

そして先輩たちに続けと、在学生たちも意欲満々に対策講座や自主勉強に取り組んでいます。これからもみんなで励まし合い、頑張りましょう。

今年の学生の声です。

畿央大学は少人数で誰とでも話しやすいアットホームな環境だからこそ、多くのことを学び、深めることができました。先生方もとても熱心に指導してくださり、4年間で学んだことは、私にとってとても大きいです。

3回生のみなさんへ
不安なことが多いと思いますが、教採・公務員対策室や学部先生方が全

これらの成長には先輩から脈々と受け継がれている精神を当然の如く身に付けてくれる学生皆さんの個々の努力とともに、各ご家庭でのサポートが在ってのことだと確信しています。私たち教職員が学生に接している時間は計算するとホンの僅かですがありません。学生が自主的に積極的に多くの人に出会い、諸々の体験で壁に直面し、跳ね飛ばされたり転んだりしながらも困難に立ち向かって成長してくれるように保護者の皆様とともに支援・応援に努めたいと思いますので、今後もどうぞ宜しくお願いいたします。



力でサポートしていただきます。自信を持って本番が迎えられよう頑張ってください！

一緒にがんばる仲間存在ははとても大きいです。分からない問題を一緒に解いたり、しんどいときに支え合ったりして、みんなで合格を目指して頑張ってください！

先輩に話を聞いたり、仲間と息抜きをしたりもして乗り越えてください！応援しています！

「すべての子どものニーズに応える先生になりたい」 ～夢を抱いて特別支援教育の学びを重ねる～

特別支援教育は、特別ではない子どもに必要な「あたりまえ」の教育です。特別支援教育に関わる授業には、特別支援学校教諭を志す学生、特別支援学校教諭免許取得を目指す学生とともに、科目によっては、それらと同数以上の学生が、「先生として、どのような子どもでも向き合えるようになりたい」という思いなどから受講しています。

日本だけではなく欧米をテキストに、マクロ・メゾ・ミクロレベルから学ぶ医学、心理、教育を横断する授業を通して、障害の有無にかかわらず、専門的知識が子どものニーズや「今はできないけれども、できるかもしれない能力」を把握していくツールになることを理解していきます。それは、国を超えても共通する教育の課題や、「子どもの多様な学び方」を考える土台となるようです。

そして、子どもの心をのぞきながら、「合理的配慮」につ

いて意見を交わしアイデアを出しあうワークでは、一人一人の子どもが思い溢れて生きていることに気づく瞬間を重ねていきます。障害や病気は子どもの一側面に過ぎないことを理解し、同時に、障害や病気をめぐる文化的脈絡や社会システムを認識していくことにもつながっているようです。

積極的なディスカッションは、他者を理解し、自分の考えを問う機会となります。自己理解・自己覚知が、専門知識や子どもに対する全人的理解とともに、一人一人の子どもの違いを大切にする教育の基底になっていくことを期待しています。



知的発達に遅れや偏りがある「子どもの学び方」を学ぶ



ワーク:子どもの心に寄り添って分かち合う教育的支援のアイデア

授業日カレンダー

大学での授業は、前期・後期各15回行われます。①～⑯は授業曜日ごとの授業週数を表わしています。⑯⑰週は最終授業期間は、定期試験、平常授業、補講が組まれます。ふだんの時間割と異なることもありますので、この期間の時間割は、前期は7月中旬、後期は1月中旬までに掲示します。
注：補講はふだんの授業曜日・時限に関わりなく6時限目や土曜日、祝日などに実施される場合があります。
注：休業日（日曜日・授業のない祝日）の事務取扱は行っておりません。
注：※印のついた日はキャンパスに入ることできません。■は休講日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日曜 事 項	日曜 事 項	日曜 事 項	日曜 事 項	日曜 事 項	日曜 事 項	日曜 事 項	日曜 事 項	日曜 事 項	日曜 事 項	日曜 事 項	日曜 事 項
1 土	1 月 ③	1 木 ⑦	1 土 ⑪	1 火 ⑮	1 金 ⑰	1 日 ⑰	1 水 ⑥	1 金 ⑨	1 月 元日 ※	1 木 ⑮	1 木
2 日	2 火 ③	2 金 ⑦	2 日	2 水 ⑮	2 土	2 月 ⑰	2 木 ⑥	2 土 ⑨	2 火 ※	2 金 ⑮	2 金
3 月	3 水 憲法記念日	3 土 ⑧	3 月 ⑫	3 木 ⑮	3 日	3 火 ②	3 金 ⑤	3 日	3 水 ※	3 土 ⑮	3 土
4 火 入学式	4 木 みどりの日	4 日	4 火 ⑫	4 金 ⑮	4 月	4 水 ②	4 土 ⑤	4 月 ⑩	4 木	4 日 授 大卒 職入 入試	4 日
5 水	5 金 こどもの日	5 月 ⑧	5 水 ⑫	5 土 ⑮	5 火	5 木 ②	5 日 指定校・社会人入試 ※	5 火 補講日	5 金 ⑬	5 月 ⑮	5 月
6 木	6 土 ④	6 火 ⑧	6 木 ⑫	6 日 期 間	6 水	6 金 ②	6 月 ⑥	6 木 ⑩	6 土 ⑬	6 火 ⑮	6 火
7 金	7 日	7 水 ⑧	7 金 ⑫	7 月 ⑮	7 木	7 土 ③	7 火 ⑦	7 木 ⑩	7 日	7 水 ⑮	7 水
8 土	8 月 ④	8 木 ⑧	8 土 ⑫	8 火 ⑮	8 金	8 日	8 水	8 金 ⑩	8 月 成人の日	8 木 ⑮	8 木
9 日	9 火 ④	9 金 ⑧	9 日	9 水	9 土	9 月 ③	9 土 ⑦	9 土 ⑩	9 火 ⑬	9 金	9 金
10 月	10 水 ④	10 土 ⑧	10 月 ⑬	10 木	10 日	10 火 ③	10 金 ⑥	10 日 専攻科入試	10 水 ⑬	10 土	10 土 一般入試
11 火	11 木 ④	11 日	11 火 ⑬	11 金 ⑮	11 月	11 水 ③	11 土 公費推薦入試	11 月 ⑪	11 木 ⑬	11 日 再 建 国 記 念 日	11 日
12 水 ① 授業開始	12 金 ④	12 月 ⑨	12 水 ⑬	12 土	12 火	12 木 ③	12 日 公費推薦入試	12 火 ⑪	12 金 ⑮	12 月 試 振替休日 (休業日)	12 月
13 木 ①	13 土 ⑤	13 火 ⑨	13 木 ⑬	13 日 期 間	13 水	13 金 ③	13 月 ⑦	13 水 ⑪	13 土 大学入試センター試験 ※	13 火	13 火
14 金 ①	14 日	14 水 ⑨	14 金 ⑬	14 月	14 木	14 土 ④	14 火 ⑧	14 木 ⑪	14 日 大学入試センター試験 ※	14 水	14 水 卒業式リハーサル
15 土 ①	15 月 ⑤	15 木 ⑨	15 土 ⑬	15 火	15 金	15 日	15 水 ⑦	15 金 ⑪	15 月 ⑭	15 木	15 木 卒業式・卒業バナーディ
16 日	16 火 ⑤	16 金 ⑨	16 日	16 水	16 土	16 月	16 木 ④	16 土 ⑪	16 火 ⑭	16 金	16 金
17 月 ①	17 水 ⑤	17 土 ⑩	17 月 ⑭	17 木	17 日	17 火 ④	17 金 ⑦	17 日	17 水 ⑭	17 土	17 土
18 火 ①	18 木 ⑤	18 日	18 火 ⑭	18 金	18 月	18 水 ④	18 土 ⑦	18 月 ⑫	18 木 ⑭	18 日	18 日
19 水 ② 履修登録変更メット	19 金 ⑤	19 月 ⑩	19 水 ⑭	19 土	19 火	19 木 ④	19 日 公費推薦入試	19 火 ⑫	19 金 ⑭	19 月 一般入試	19 月
20 木 ② 前期学費納入期日	20 土 ⑥	20 火 ⑩	20 木 ⑭	20 日	20 水	20 金	20 月 ⑧	20 水 ⑫	20 土 ⑭	20 火	20 火
21 金 ②	21 日 創立記念日	21 水 ⑩	21 金 ⑭	21 月	21 木	21 土	21 日 蔵央祭	21 火 ⑨	21 木 ⑫	21 日	21 水 春分の日
22 土 ②	22 月 ⑥	22 木 ⑩	22 土 ⑭	22 火	22 金	22 日	22 日 蔵央祭	22 水 ⑧	22 金 ⑫	22 月 一般入試	22 木
23 日	23 火 ⑥	23 金 ⑩	23 日	23 水	23 土	23 月 ① 授業開始 (秋分の日)	23 火 クリーンキャンペーン補講日 (午後)	23 木 勤労感謝の日	23 土 ⑫ 授業日 (天皇誕生日)	23 火 一般入試	23 金
24 月 ②	24 水 ⑥	24 土 補講日	24 月 補講日	24 木	24 日	24 火 AO入試・大学院入試 ※	24 土 ⑤	24 金 ⑧	24 日	24 水 補講日	24 土
25 火 ②	25 木 ⑥	25 日	25 火 補講日	25 金	25 月 ①	25 水 ①	25 土 ⑤	25 木 ⑧	25 月 ⑬	25 木 一般入試	25 日
26 水 ②	26 金 ⑥	26 月 ⑪	26 水 ⑮	26 土	26 火 ①	26 木 ⑤	26 土 ⑨	26 日	26 火 補講日	26 金 ⑮	26 月
27 木 ③	27 土 ⑦	27 火 ⑪	27 木 ⑮	27 日	27 水 ①	27 金 ④	27 月 ⑨	27 火 ⑨	27 水 ⑮	27 火	27 火
28 金 ③	28 日	28 水 ⑪	28 金 ⑮	28 月	28 木 ①	28 土 ⑤	28 火 ⑩	28 木	28 日	28 水	28 水
29 土 ③ 授業日 (昭和の日)	29 月 ⑦	29 木 ⑪	29 土 ⑮	29 火	29 金 ①	29 日	29 水 ⑨	29 金	※ 29 月 ⑮	29 木	29 木
30 日	30 火 ⑦	30 金 ⑪	30 日	30 水	30 土 ②	30 月 ⑤	30 木 ⑨	30 土	※ 30 火 ⑮	30 日	30 金
	31 水 ⑦		31 月 ⑮	31 木		31 火 ⑥		31 日	※ 31 水 ⑮		31 土

大学の最新情報は、公式SNSで！

本学では教育・研究・社会貢献における情報公開を積極的に進めており、在学生の学びや卒業生の活躍、キャンパスの様子などをホームページとあわせて、大学公式SNSで随時発信しています。LINE以外はアカウントをお持ちでなくともご覧になります。

本学の「今」を知るツールとして、ぜひご活用ください。



畿央生の活躍やキャンパスの様子を美しい写真とともに紹介。畿央大学の「今」を発信します。



各学科紹介のほかに、「1分でわかる畿央大学」シリーズの動画を好評配信中です。



トピックスやイベント、ブログの更新情報などを、1日1件以上のペースでツイートしています。



受験生向けに情報発信。→ともだち検索で「畿央大学」と入力！

冬木学園へのご支援のお願い

冬木学園では、教育・研究環境の整備及び基金の充実を目的とする募金へのご協力を広く皆様方をお願いをしております。

本学園の取り組みをご理解いただき、格別のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

◎ 税額控除の適用について

平成24年度より本学園は、寄付税額控除制度の適用を受けることのできる学校法人として文部科学大臣より証明されています。個人の方が支出した寄付金について、確定申告時に税額控除制度の適用を選択した場合、以下により算出された額が所得税額から控除されます。

$$(\text{税額控除対象寄付金}^{※1} - 2,000\text{円}) \times 40\% \\ = \text{控除対象額}^{※2}$$

- ※1 総所得額の40%まで
- ※2 所得税額の25%まで

◎ 寄付のお申込方法

法人事務局総務部(担当：植村・竹本)にお問い合わせください。

TEL：0745-54-1602

E-mail：soumu@kio.ac.jp